

個人投資家向け会社説明会資料



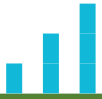
日本甜菜製糖株式会社

2025年9月6日

東証プライム市場 証券コード：2108



1. 会社概要	3 ページ～
2. 中期経営計画	19ページ～
3. 株主還元、株価など	29ページ～
4. 参考資料	34ページ～
5. 本日のまとめ	44ページ～



1. 会社概要



この作物をご存じでしょうか？





甜菜（てん菜）とは？



※根の長さ 20cm弱

英語名「ビート（beet、sugar beet）」

ヒユ科の植物で、
ホウレンソウ等の仲間ですが、
その見た目から砂糖大根などとも呼ばれます。

ビート1個（約1kg）に、16～17%の
糖分が含まれており、
コップ一杯のお砂糖を採ることができます。



サトウキビの糖分は1kgあたり
約11%前後。
サトウキビよりも多くの糖分を
含んでいます。



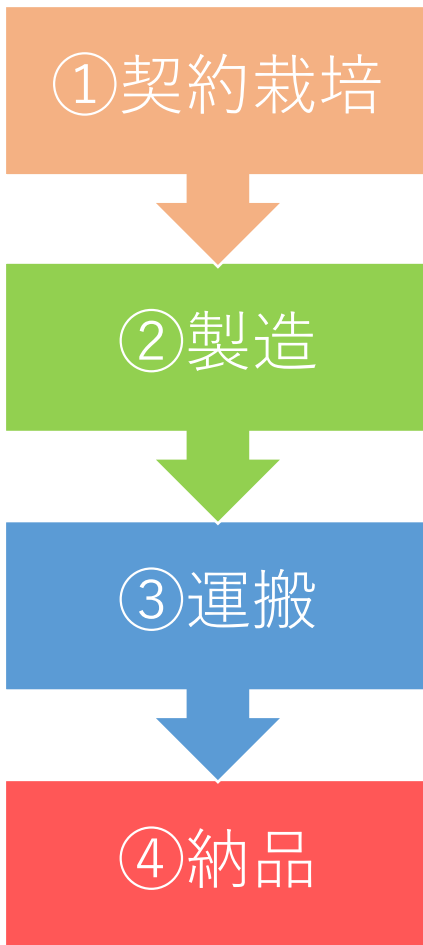
北海道で製造した砂糖を、全国のお客様へお届けしています！



①北海道の畑で、農家の方々が大切に育てたてん菜を受入



③北海道より、JRコンテナ、海上コンテナ、トラックで日本全国へ運搬



②北海道にある三製糖所（芽室町・美幌町・士別市）で、てん菜から砂糖を製造

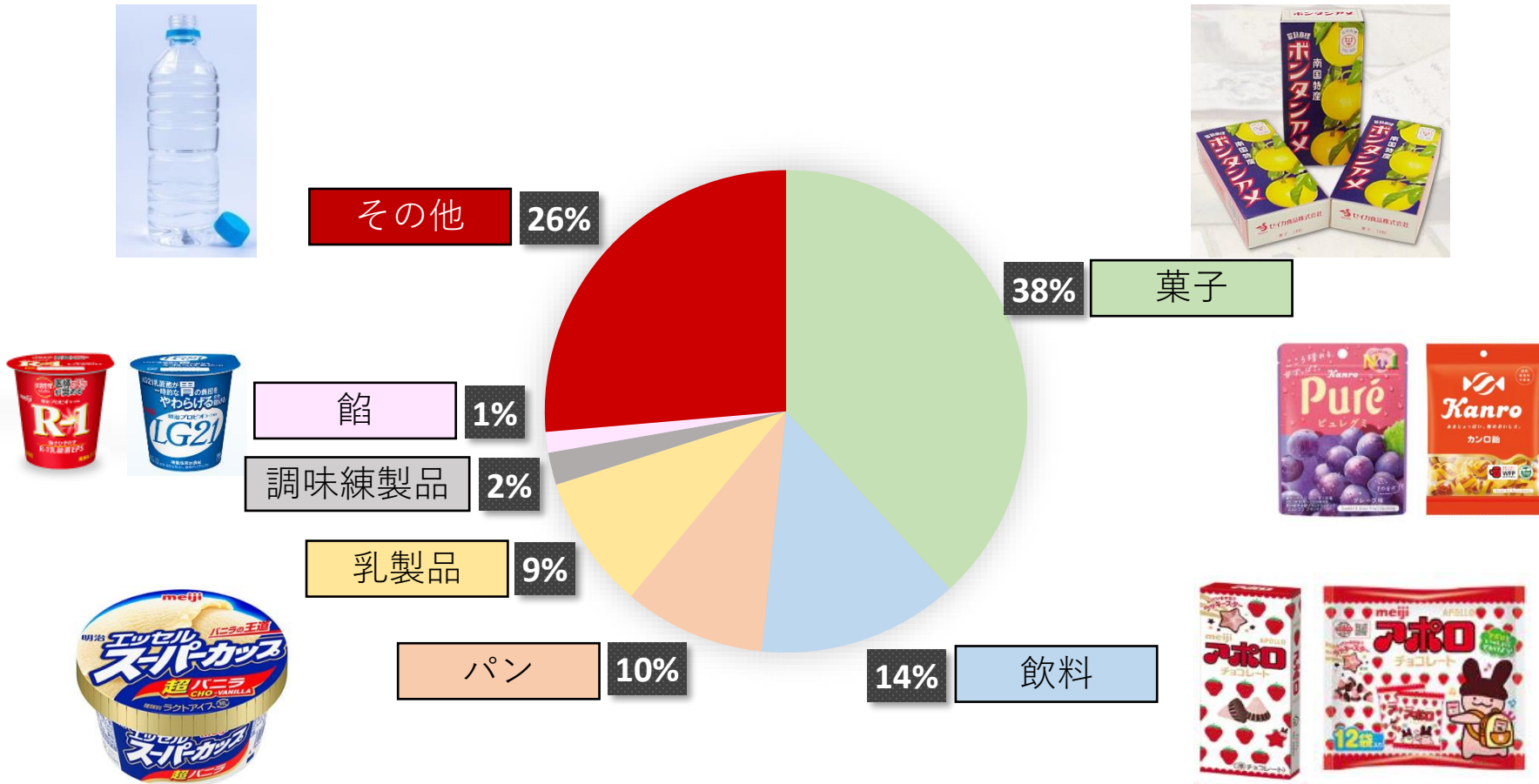


④大手菓子、飲料、パン、乳製品メーカー等へ納品



砂糖の出荷先

当社の砂糖の多くを占める業務用の砂糖は、大手菓子、飲料メーカー等に販売、ご好評を頂いており、北海道で生産された国産かつ高品質な砂糖は姿を変えて、皆さまの食生活に貢献しております。



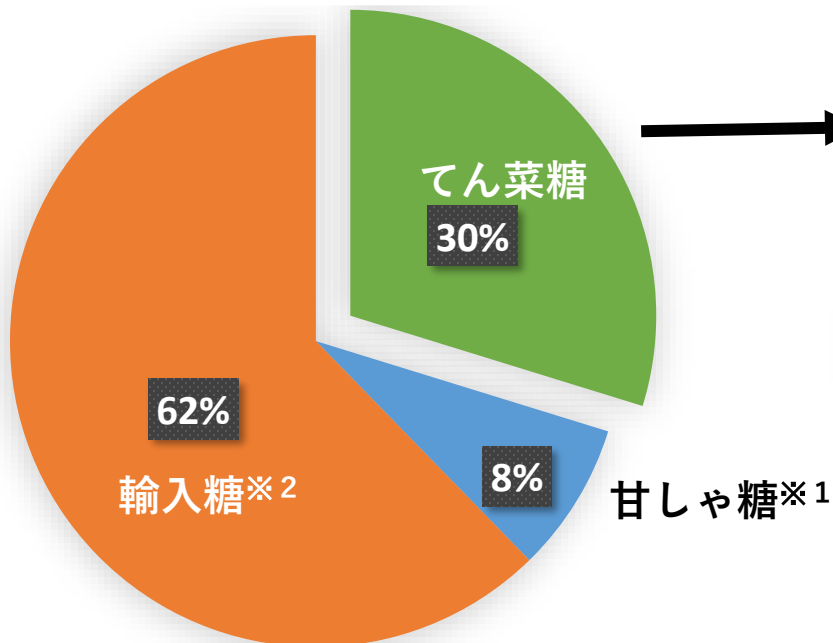
2024年4月～2025年3月 出荷実績



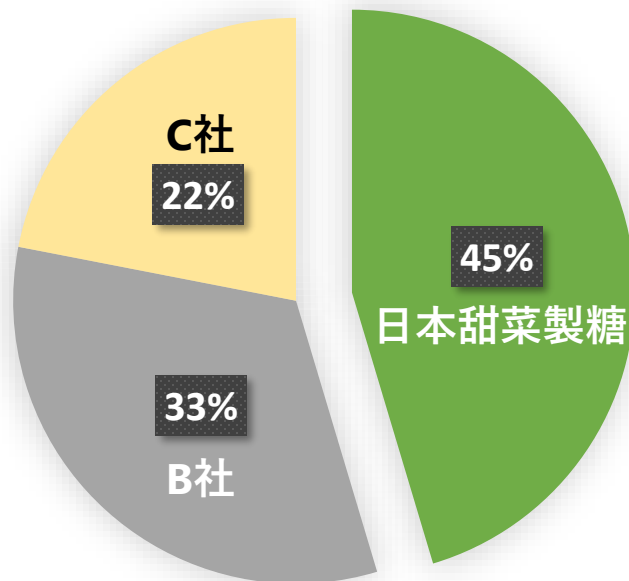
国内で生産される砂糖のうち、10%強を日本甜菜製糖が生産しています。

国産糖の
トップメーカー

国内原料別砂糖生産量
(令和6年度)



てん菜糖業者別砂糖生産量
(令和6年度)



※1 甘しゃ糖 サトウキビから生産された砂糖

※2 輸入糖 主にオーストラリア、タイより輸入された砂糖の原料となる粗糖から生産された砂糖

引用；令和6砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回） 令和7年6月 農林水産省
令和6年（2024年）産てん菜糖の生産実績 北海道農政部生産振興局農産振興課調べ



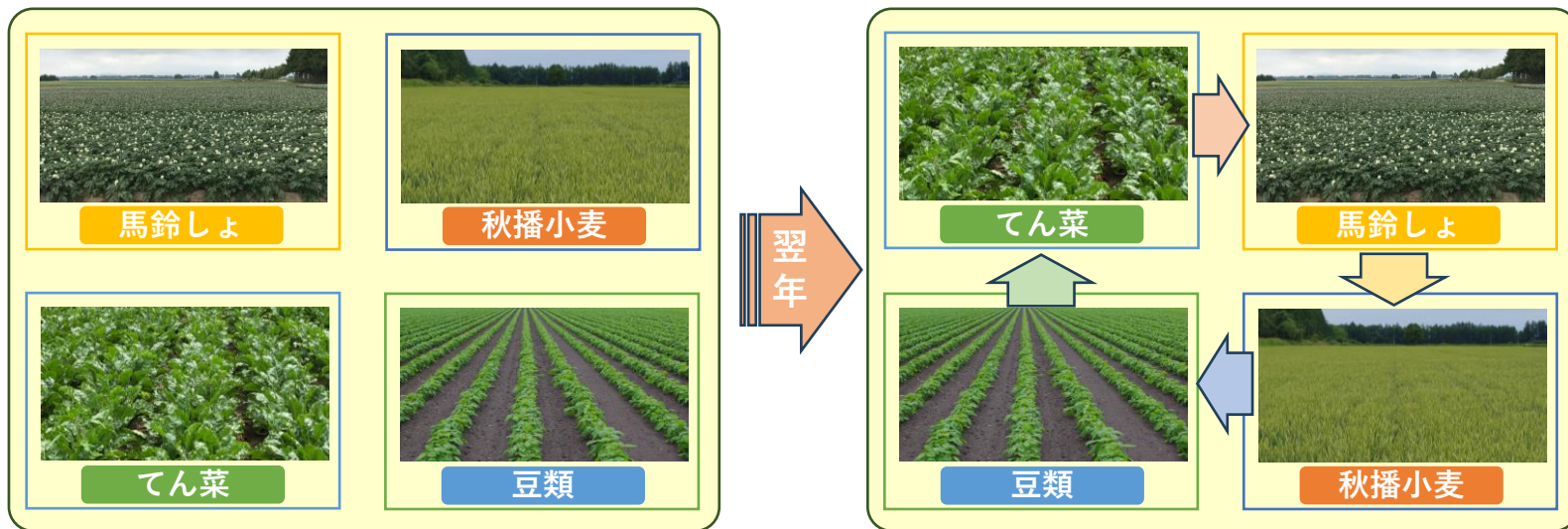
輪作とは

○ 複数の異なる作物を順番に栽培していく方法

同じ畑で同じ作物をつくり続けると...

- 畑の養分バランスが崩れ収量が低下
- 特定の菌群が増え、病気発生リスクが増加（品質・収量の低下につながる）
- 除草剤の効果が限定され、特定の雑草が残存（管理作業の増加と減収懸念）

麦・豆・いもの生産にも貢献



てん菜は、寒冷地作物として北海道農業に欠かせない作物であり、北海道の大規模で安定的な食料供給の一翼を担っています。



輸入粗糖から砂糖を製造する精糖事業も行っております。

1952年～2001年3月、当社の下関精糖工場（山口県下関市）で砂糖を製造しておりました。

2001年以降は、関門製糖株式会社（福岡県北九州市）に製造委託し、主に中国・九州地方で販売をしています。



（下関精糖工場 1982年）

下関精糖工場

関門製糖(株)

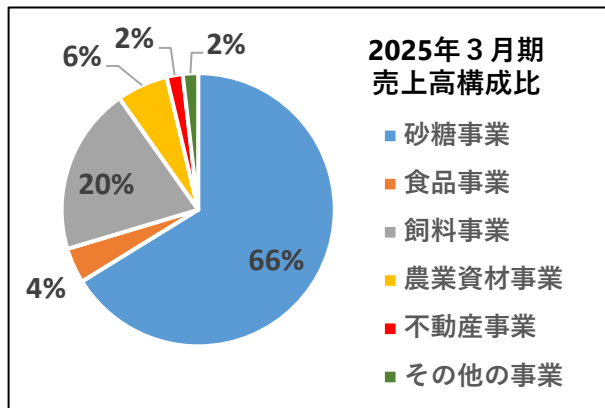


（精糖製品一例）

※その他、三温糖、中双糖等も取り揃えております。



てん菜を中心に事業が派生



その他の事業



てん菜や製品の輸送
石炭・石油類の販売

不動産事業



社有地等の保有不動産を
有効活用

食品事業



砂糖製造・バイオ
技術を活用

砂糖事業



北海道内の三製糖所で「てん菜」
から砂糖を製造、全国で販売
輸入粗糖から砂糖を製造する
精糖事業も行う



農業資材事業



てん菜栽培の技術
を活用

飼料事業



てん菜の繊維質（ビートパルプ）
は牛の飼料として活用
牛用の配合飼料を販売



食品事業

【製パン用イースト】 【オリゴ糖等食品素材】

- ・パン酵母（イースト）を製造販売。ドライイーストを製造しているのは日本では当社だけ！
- ・てん菜由来のオリゴ糖やベタイン（アミノ酸の一種）を製造販売。

飼料事業

【牛用の配合飼料】 【ビートパルプ】

- ・北海道内で主に乳牛用の配合飼料を販売。
（イーストやオリゴ糖を配合した機能性ある商品が特長）

農業資材事業

【紙筒（育苗用資材）】 【農業用機械器具】

- ・当社が開発した紙製の農業用資材（紙筒～ペーパーポット[®]、チェーンポット[®]）は、てん菜のほか、そ菜・花き・林木用も販売。日本のネギの約3割に使われています。

不動産事業

【北海道、東京等で不動産賃貸】

- ・北海道帯広市で複合商業施設を賃貸し、地域の皆様の暮らしに貢献。
- ・東京等でオフィスビル等を賃貸。

各事業詳細
P38～P42
を参照

その他の事業

【貨物輸送】 【石油類販売】

- ・子会社：十勝鉄道(株)で、原料となるてん菜やビート糖・配合飼料を輸送。
- ・子会社：スズラン企業(株)で、石油製品販売事業等を行う。



【日本の食料自給率に貢献】

- ・北海道てん菜糖のトップメーカー
「スズラン印」の砂糖は家庭用小袋では北海道、中国地方が中心ですが、業務用では全国に展開。
- ・てん菜を通じて、北海道の畑作、酪農に貢献し、国産原料を使用した砂糖の安定的な供給体制を構築。

【幅広い試験研究】

- ・自社研究施設での開発による特許や技術を多く保有しています。
(研究開発費 総額 557百万円 (2025年3月期実績))

主な
研究
内容

- ・ 耐病性品種の育成、栽培技術、製糖技術（高度な生産技術）
- ・ オリゴ糖やアミノ酸等の機能性を持つ食品や原料素材
- ・ 牛の健康寿命を延ばす機能性を持つ配合飼料
- ・ 農作業の省力化や環境保護に寄与する農業資機材や栽培技術

【人と環境にやさしいものづくり】

- ・ 誰もが喜ぶものづくり/環境負荷を減らすものづくりを目指し、人の健康増進に寄与する製品や環境負荷低減製品の製造開発に取り組んでいます。



- ・日本の食料自給率は約38%（カロリーベース、2023年度数値）。
- ・2023年度はてん菜の記録的な低糖分により、砂糖類の食料自給率は低下しましたが、高い自給率で日本の食料自給率向上に貢献しております。

品目別自給率 上位5品目	米	野菜	魚介類	砂糖類	果実
	2023年度	100%	76%	49%	26%
2022年度	99%	75%	49%	34%	30%
2021年度	98%	75%	53%	36%	30%

※農林水産省「食料自給率・食料自給力指標について」より

- ・食料自給率の向上は、フードマイレージの観点から、環境負荷の低減につながります。



当社パーパス

畑から、食卓へ。
てん菜から広がる可能性を見だし、
人と環境にやさしいものづくりで、
北海道、そして日本の未来に貢献します。



日甜アググリーン戦略

※「アググリーン」とは「アグリカルチャー」と「グリーン」を掛け合わせた造語です。



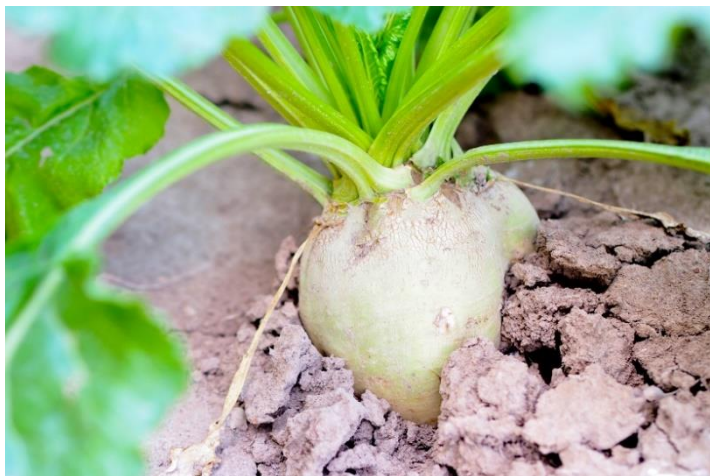
**NITTEN
AGREEN
STRATEGY**



これまで培ってきた製糖副産物を利用する技術、
バイオ技術、独自の紙筒技術、等を基盤に、
「食品、畜産、紙筒、てん菜」の4つの分野で、
新製品や新技術の開発に取り組んでいます。



- ・てん菜はCO2吸収能力が非常に高い作物。
- ・砂糖の原料とならない茎葉部は、畑にすき込み緑肥として再利用。
- ・てん菜の搾りかす（ビートパルプ）は、原料として飼料に活用。



- ・ビートパルプを乾燥させずサイレージ※化して販売する「生パルプサイレージ」の製品化に取り組んでおります。
（嗜好性が良く、牛が良く食べることにより、乳量の増加が期待できます。）

※適度な水分を保ったまま密封して発酵を行う。



- ペーパーポット®は当社が開発した育苗用資材で、環境にやさしい紙素材製品。
- 特殊な紙で作られており、ポットは土中の微生物により分解が促進されるため、そのまま植えることが可能。
- 一株ごとに分かれる「ペーパーポット®」と数珠つなぎ状にはがれる「チェーンポット®」の2種類があり、移植機材と組み合わせることで作業時間と労力が節約できます。
- 60年以上、ペーパーポット®でてん菜産業を支えています。今日では他作物にも用途を拡大。そ菜・花き・林木用があり、ネギ、レタス、キャベツ等の葉菜類の栽培等、国内だけではなく海外にも販路を広めています。
- 環境に配慮した有機栽培用のペーパーポット®開発も進めています。



ラフィノース100
(ラフィノースを食べやすい
顆粒状にした商品です。)



北海道ビートオリゴ
(ラフィノースを含む
シロップです。)



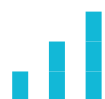
北海道どさんこオリゴ
(フラクトオリゴ糖を含む
シロップです。)

ラフィノース (オリゴ糖の一種)

てん菜に僅かに含まれる天然のオリゴ糖。
健康志向の食品素材として幅広くご使用頂けます。
ラフィノースは胃や小腸で消化吸収されにくく、
善玉菌であるビフィズス菌が棲む大腸に届きます。

フラクトオリゴ糖 (オリゴ糖の一種)

てん菜糖蜜を原料とし、北海道で製造。
糖蜜由来の香ばしい風味とすっきりとした甘さ
が特長です。




2. 中期経営計画



第2次中期経営計画（2023年度～2027年度）の3年度～5年度目標を再設定

- てん菜を取り巻く現状を鑑み、収益体質の改善を図ることも踏まえた目標値に修正
- 資本収益性の向上を意識し、新たにROE目標を設定

	2024年度実績	旧2027年度目標	新2027年度目標	
目標値	営業利益	5 億円	24 億円	30 億円
	ROE	3.7 %		5 %以上
	株主還元		1 株当たり配当金 50 円以上	1 株当たり配当金 80 円以上

※ 詳細は2025年5月14日付「第2次中期経営計画の見直し(2025年度～2027年度)」をご参照ください。

https://www.nitten.co.jp/dcms_media/other/2nd_medium_term_plan_revise_20250514.pdf



第2次中期経営計画 基本方針

持続可能なてん菜産業の創造にチャレンジし、安全・安心で幸せな社会の実現に貢献していく

事業戦略

資本・財務戦略

非財務戦略

成長事業の拡大加速

- 1 飼料事業
 - ✓ 独自素材DFAⅢの海外展開
 - ✓ ビートパルプの多用途展開
- 2 農業資材事業
 - ✓ 有機農業用資材の新商品開発・海外展開
 - ✓ てん菜由来の有用物質を活用した商品の拡販
- 3 食品事業
 - ✓ BtoC市場での販売強化
 - ✓ 国産ドライイーストの市場開拓
 - ✓ 新たな機能を有する製品の開発

基盤事業の収益構造改善

- 4 砂糖事業
 - ✓ 省Iネ・省人・省力化、販売強化
- 5 不動産事業
 - ✓ 安定的な収益確保

- 1 政策保有株式の縮減
- 2 キャッシュアロケーションの策定
- 3 株主還元の拡充
- 4 適切なバランスシートコントロール

- 1 持続可能な農業への貢献
- 2 気候変動への対応
- 3 資源の有効活用
- 4 食の安全・安心
- 5 働きやすい環境の実現
- 6 地域社会への貢献



DFAⅢ（オリゴ糖の一種）～乳牛の健康促進～



イムノアクセル®
乳牛の仔牛用サプリメント

- ・当社独自素材のDFAⅢは、分娩後の牛が発症しやすい低Ca血症という病気の予防効果や、出生直後の動物への免疫抗体の吸収促進作用が期待できます。
- ・牛だけでなく豚や馬への給与効果も検証し、海外に向けた展開を取り進めています。

⇒ターゲット：タイなど

紙筒～農作業の省力化、収量増加～



「チェーンポット®」専用の
移植機「ひっぱりくん®」

- ・当社が開発した紙筒ですが、てん菜の栽培技術を応用し野菜や林木用の育苗資材として販売しています。
- ・海外の有機農業用資材需要の高まりに対応するため、有機対応の紙筒商品の開発を進めております。

⇒ターゲット：アメリカなど

米雑誌 Newsweek誌で紹介されました
(2025年2月21日号)

Hokkaido Beet Sugar Manufacturers Sweeten Agriculture

Nestled in Japan's far north, Nitten are supporting local farmers while developing solutions to some of agriculture's biggest challenges. *By Daniel de Bontford, Cian O'Neil and Paul Manning*



"The relationship with farmers, agricultural societies and local governments is the essential base of our company."

Shu Ishikiri
President, Nitten

With long winters, deep snow and isolated geography, few places in the world offer a greater challenge for agriculture than Hokkaido, Japan. But in this challenging environment, Nippon Beet Sugar Manufacturing Co., Ltd. (Nitten), founded in 1919, has built a thriving enterprise in conjunction with the local agricultural community. Nitten brings over a century of experience growing in Hokkaido and has contributed to the establishment of crop rotation and advancements in local agriculture. Through a forward thinking approach, Nitten has risen to become the leading manufacturer of beet sugar in Japan and supplies over 40 percent of the market. It doesn't limit itself to beets only, it also produces agricultural materials, animal feed and functional foods. With both the Japanese domestic industry and market in decline, Nitten are looking to continue to develop their products and expand into the international market, leveraging the expertise

they have cultivated. This ambition has driven Nitten into an enviable position as its environmentally sound techniques and technology are highly desirable in the present eco-conscious world.

Nitten has maintained a close relationship with farmers and the agricultural community, helping build the stable beet production system. "This relationship with farmers, agricultural societies and local governments is the essential base of our company," he explains. With the labor pool in the sector shrinking, Nitten is providing more efficient methods of farming to the agricultural community, with harder varieties of crops and more efficient tools and techniques. Mr. Ishikiri explains, "Our proposals are effective for both older farmers and successive young farmers." Nitten has achieved a highly efficient production system in partnership with local growers, with high quality produce as a result. Perhaps most impactfully, Nitten's investment into research and development has been responsible for many of the breakthroughs in agriculture, like its paper pots and Hippari-kun planter.

"Paper pot was originally developed for growing sugar beets over 60 years ago for the purpose of expanding the growing season of sugar beets under the cold climate of Hokkaido." Nitten's paper pots have been so effective in Hokkaido that they have been exported abroad. It has been the only successful manufacturer of difructose anhydride III (DFA III), a functional oligosaccharide which improves the mineral absorption in cows, enhances immunity in calves and contributes to overall health in cattle. With their success in dairy cows, the Nitten research team is looking at whether DFA III will benefit other livestock.

DFA III has become the golden standard in Japan because it contributes to the ongoing health of cattle. Now, Nitten is working towards exporting to Europe and the rapidly growing dairy industry in Asia. Mr. Ishikiri explains that the animal feed sector has their highest growth expectations and



Syrup with oligosaccharide



Granulated sugar



Transplanter "Hippari-kun"

is lower than other methods and Hippari-kun—which was invented 30 years ago—has no engine, making maintenance simpler and eliminating energy usage. Nitten looks to expand the paper pot business globally, with a vision to make local agriculture sustainable and less laborious.



DFAIII product for calves "ImmunoAccel"

Beyond paper pots, Nitten's R&D is making waves in the functional food sector and not just for humans, for livestock feed too. It has been developed and has been the only successful manufacturer of difructose anhydride III (DFA III), a functional oligosaccharide which improves the mineral absorption in cows, enhances immunity in calves and contributes to overall health in cattle. With their success in dairy cows, the Nitten research team is looking at whether DFA III will benefit other livestock.

DFA III has become the golden standard in Japan because it contributes to the ongoing health of cattle. Now, Nitten is working towards exporting to Europe and the rapidly growing dairy industry in Asia. Mr. Ishikiri explains that the animal feed sector has their highest growth expectations and

their primary strategy for revenue growth is based on DFA III, healthy feeds and algae products. "That department has set a goal of tripling its operating profits over the next five years, from JPY 400 million to JPY 1.2 billion," he says.

To ensure that growth Nitten has eyes on the international market. "Our Paper Pot business already has very good relations with our US partners and from now on, we plan to expand that Paper Pot business to Europe and China." Nitten is currently in the process of establishing a European office for livestock feed and is planning on expanding into South-east Asia and Oceania.



Paperpot

Looking ahead, Nitten's continued innovation, research and sustainable practices ensure its continued leadership in agriculture, not just in Hokkaido, but all of Japan. By expanding globally, fostering local relationships and developing eco-friendly technologies, Nitten remains poised to thrive in the evolving agricultural landscape, benefiting farmers and consumers alike.

日本甜菜製糖株式会社

www.nitten.co.jp

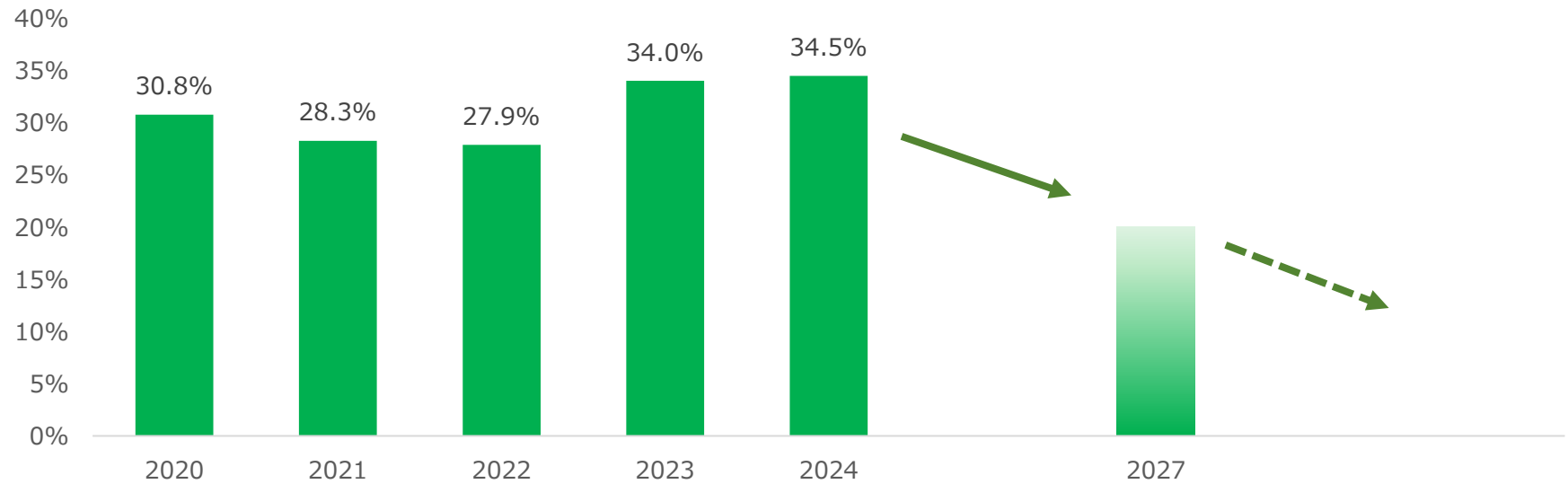


- 資本効率性を鑑み、保有意義を再検討し、今回新たに政策保有株式の縮減方針を策定
- 2027年度末までに純資産比率の20%まで縮減し、以降更なる縮減を進める

政策保有株式の縮減方針

政策保有株式*の縮減目標 連結純資産に対して2027年度までに20%まで縮減する

※政策保有株式
保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式の連結貸借対照表計上額+みなし保有株式



中長期の縮減目標 2027年度末までの縮減目標達成に取り組み、縮減目標達成後、更なる縮減を進める



- 純資産の蓄積による財務安全性重視から、投資と株主還元の充実による資本効率向上重視への転換を志向
- 効果的投資を充実させ、かつ株主還元をバランスよく実施する方針

キャッシュアロケーションの方針（2025～2027年度累計）

キャッシュイン

政策保有株式
売却及び
有利子負債
活用
約90億円

営業CF
約110億円

計 約200億円

キャッシュアウト



非連続成長
<ul style="list-style-type: none"> • M&Aおよびアライアンス推進（具体例：NoMy取り組み） • 研究開発投資、人材投資
成長投資
<ul style="list-style-type: none"> • 海外事業拡大（独自素材飼料添加物、有機農業用資材の輸出） • 新製品開発（新機能を有する製品・環境負荷を低減する製品） <p>※大型投資案件が生じた場合は、有利子負債の活用も検討</p>
株主還元
<ul style="list-style-type: none"> • 従来の1株当たり配当金50円以上から、1株当たり配当金80円以上に見直し • 機動的な自己株式取得を実施



マテリアリティ6UNSDゴール

テーマ	主な取り組み	KPI (2030年目標)
持続可能な農業への貢献	安定的な原料てん菜の確保 減農薬・減肥料・スマート農業の推進	需要に応じた新品種の普及 化学肥料使用量削減率10% (2016年度比)
気候変動への対応	温室効果ガス削減 林業への貢献	CO ₂ 排出量削減率38% (2013年度比)
資源の有効活用	産業副産物の有価物として利用 水資源使用量削減	産業副産物の有効利用率95%以上 取水量削減率10% (2013年度比)
食の安全・安心	安全・安心な製品の提供	FSSC 22000 (食品安全の国際規格) 認証の継続
働きやすい環境の実現	コンプライアンス徹底、ハラスメントゼロ 女性管理職割合増加	ハラスメント関連研修受講率100% 総合職新卒採用女性比率25%以上
地域社会への貢献	見学等を通じた食育活動 地域社会貢献活動の実施 障がい者の社会参加への支援	対面/オンラインを活用した工場・ビート資料館見学の実施継続



「てん菜糖業」から
「てん菜産業」への飛躍





当社のありたい姿の実現に向けた資本収益性の向上 27

- 当社のありたい姿の実現に向け、本中期経営計画では①収益体質の改善②資本財務戦略の見直しに取り組んでいく
- 中期経営計画最終年(2027年度)以降も資本財務戦略の見直しは継続、砂糖事業以外の新規事業で収益を向上させ、安定的にROE 5%以上の達成を目指す

経営ビジョンと本中期経営計画の位置づけ

当社のありたい姿：「てん菜糖業」から「てん菜産業」への飛躍

Phase 1

資本効率性の改善

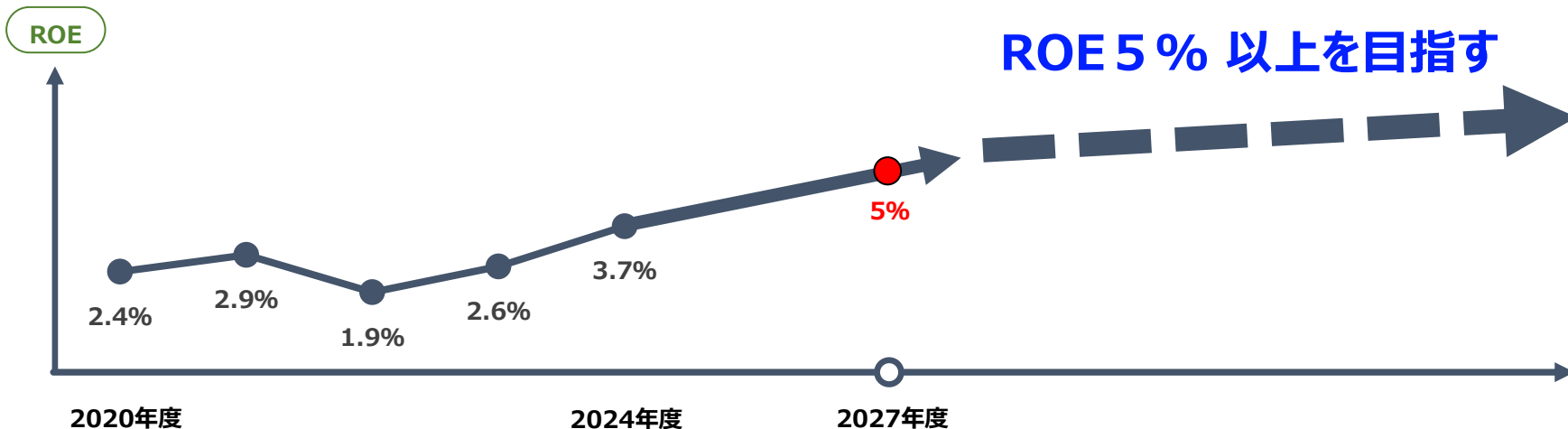
第2次中期経営計画 2023-2027

Phase 2

ビジネスモデルの変革

将来の企業価値向上を目指した取り組み

- 収益体質の改善を最優先課題として取り組むと同時に、資本財務戦略の見直しを行い、資本効率の改善を目指す
- 既存事業への成長投資だけでなく、非連続成長への投資も更に拡大する
- 自己資本のコントロールも継続する





- 当社の将来像として、第2次中期経営計画(～2027年度)で掲げた「収益体質の改善」および「資本財務戦略」を継続しつつ、砂糖事業以外の新規事業に率先して取り組み、安定的にROE 5%以上の達成を目指す

取組 1 **マイコプロテイン生産** **砂糖の製造過程で発生する副産物を利用し、動物性タンパク質の代替とする研究に挑戦**

- 取組内容** → ノルウェーのオスロに本社を置く発酵科学のリーディングカンパニー「Norwegian Mycelium AS (NoMy)」に2025年4月30日出資
- 期待効果** → てん菜から新たな食品用途を開発・・・マイコプロテイン生産
→ 植物から新たなタンパク源を製造し、将来予想される世界的タンパク質不足へ対応

取組 2 **カギケリ飼料の開発** **メタン抑制技術の開発に挑戦**

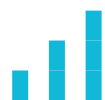
- 取組内容** → カギケリ等藻類のメタン抑制効果を検証
- 期待効果** → 陸上養殖試験を開始して商品化を目指す

取組 3 **ナノセルロース事業化** **てん菜糖蜜を新プラスチック素材(ナノセルロース等)とする研究に挑戦**

- 取組内容** → 北海道大学と共同で酢酸菌の生産するナノセルロースの効率的生産と物性に関する研究を実施中
- 期待効果** → てん菜の食品以外の新たな用途開発・・・植物由来の新素材ナノセルロース
→ 植物由来プラスチックの普及による資源循環社会の実現

取組 4 **油脂生産** **酵母の培養技術を応用、「微細藻類の従属栄養による高密度大量培養技術」確立を目指した研究に挑戦**

- 取組内容** → 従来からのSAF研究で得た藻類培養の知見に基づいた、新機能を有する油脂等の研究を継続
- 期待効果** → てん菜から新たな食品用途を開発・・・微細藻類の培養 → 人々の健康増進



3. 株主還元、株価など



- 株主還元方針を1株当たり配当金80円以上に変更し、株主還元を強化
- 今後も機動的な自己株式取得を行い、ROE向上を目指す

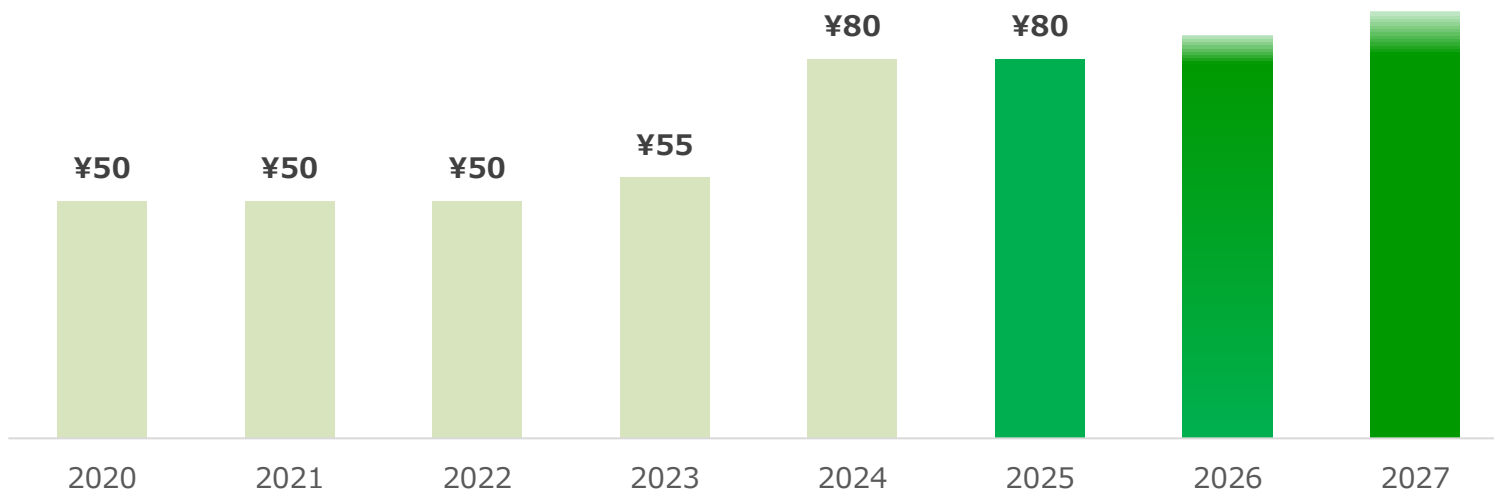
株主還元方針

株主還元方針

- 従来の1株当たり配当金50円以上から、**1株当たり配当金80円以上**に見直し
- 機動的な自己株式取得を実施

1株当たり配当金推移

(単位：円/株)



<参考> 自己株式購入実績

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (計画)
取得価額 (百万円)	315	902	235	999	999	1,000



- 2022年4月 東京証券取引所市場第一部から新市場区分「プライム市場」へ移行。
- 証券コード 2108
- 新聞の経済面等では銘柄名が「甜菜糖」と記載されています。

株価チャート 2023年8月～2025年8月

(単位：円)





【2023年2月から株主優待制度を実施】

- ・毎年3月末現在（基準日）の株主名簿に記載または記録された株主様（年1回 7月上旬ごろにお届けしております。）

保有株式数	贈呈品
100～499株	自社製品 1,000円相当
500～999株	自社製品 1,500円相当
1,000株以上	自社製品 2,500円相当



グラニュー糖 1 Kg



上白糖 1 Kg



北海道どさんこオリゴ300g
※フラクトオリゴ糖を含むシロップ



ポケットシュガー 3g×30本



【株主さま向け製糖所見学会を実施】

以前に開催した個人投資家様向け説明会において
ご要望をいただき、
当社最大の工場である芽室製糖所やてん菜畑などを
ご覧いただく見学会を実施することとしました。
(2025年10月実施予定：応募は終了しております)

※当社株式を一定数保有の株主さまが対象
応募者多数の場合は抽選

今後も日本甜菜製糖のことを深く知っていただける企画を検討してまいります！



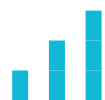
(芽室製糖所)



(てん菜畑)



(ビート資料館)



4. 参考資料



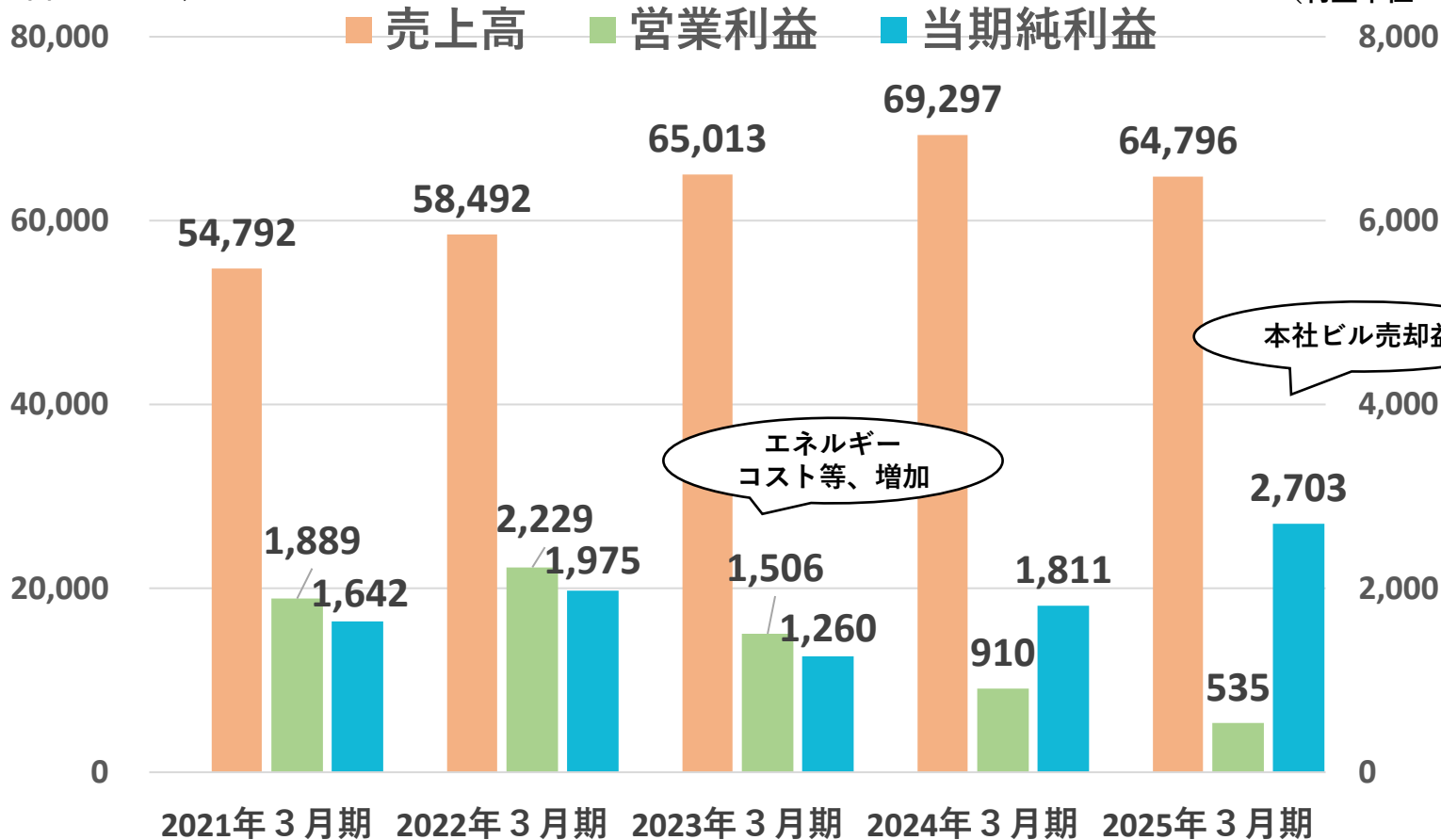
社名	にっぽんてんさいせいとうかぶしきかいしゃ 日本甜菜製糖株式会社
社名英訳	Nippon Beet Sugar Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	〒108-0073 東京都港区三田三丁目12番14号 ニッテン三田ビル <u>※2025年9月22日、以下の所在地に本店を移転します。</u> → 東京都中央区京橋二丁目6番4号
代表者	取締役社長 石栗 秀
資本金	82億7千9百万円
創立	1919年（大正8年）6月11日 創業106年
従業員数	775名（連結）
株式	東京証券取引所 プライム市場（証券コード 2108）
事業内容	砂糖事業・食品事業・飼料事業・農業資材事業・不動産事業・その他の事業
子会社	十勝鉄道(株)・スズラン企業(株)・ニッテン商事(株)・サークル機工(株) 士別スズランファーム（株）
関連会社	とがち飼料（株）



2024年3月期、てん菜が記録的不作となるも、 収益体質の改善・資本財務戦略の見直しに取り組む

(売上高単位：百万円)

(利益単位：百万円)



エネルギーコスト等、増加

本社ビル売却益

猛暑による記録的低糖分製造コスト大幅増
販売数量減



【北海道を拠点に全国に展開】



芽室製糖所
 FSSC22000認証※ 2012年6月取得

東京本社は2025年9月22日に移転します。
 (現本社) 東京都港区三田三丁目12番14号
 ↓
 (新本社) 東京都中央区京橋二丁目6番4号

経営効率向上や生産性の向上につなげ、
 当社グループのさらなる企業価値向上に
 努めてまいります！

※ISO 22000を追加要求事項で補強した食品安全マネジメントシステムに関する国際規格



砂糖事業

●事業概要

当社は寒冷な地域での栽培に適した**てん菜**を北海道（十勝、オホーツク、道央）の農家の方に栽培して頂き、収穫されたてん菜から砂糖を、北海道にある**芽室・美幌・士別の三製糖所**で製造しています。

当社は**ビート糖**製造販売で4割程度のシェアの他、また粗糖を原料とした**精糖**の製造販売も行い、北海道、西日本では**スズラン印の砂糖**として愛用されています。

業務用の砂糖は大手菓子、飲料メーカー等に販売、ご好評を頂いており、**国産で高品質の砂糖を安定的に供給できるのが当社の強み**です。

当社は、ビート糖、精糖を合わせ日本で消費される砂糖の1割強を供給しています。

ビート糖



家庭用 **グラニュー糖**と**上白糖**です（小袋1Kg）。北海道産であり、大変好評を頂いております。

精糖



家庭用 **三温糖** **白ザラ糖**です（小袋1Kg）。その他、**グラニュー糖**、**上白糖**、**中双糖**も取りそろえております。

北海道まろやかてんさい糖



北海道オホーツク産てん菜のみを使用。第78回**ジャパン・フード・セレクション**(2024年8月)において、最高評価である「**グランプリ**」を受賞。



食品事業

●事業概要

当社では砂糖の他、副産物であるビート糖蜜を活用し、パン酵母（イースト）やオリゴ糖などの機能性素材を製造販売、当社の主業である「砂糖」と合わせて、様々な食品素材を供給することで、食生活に彩りを添えています。

イーストは各種業務用のほか、家庭用のドライイーストも取り扱っています。
(日本でドライイーストを製造しているのは当社だけです)。

てん菜に僅かに含まれる天然のオリゴ糖であるラフィノースやてん菜糖蜜を原料とするフラクトオリゴ糖を含む製品等の製造販売を行っています。

てん菜に含まれる有用成分であり、食品添加物（調味料）や化粧品素材に使用されているベタイン（アミノ酸の一種）の製造販売も行っています。

子会社 **ニッテン商事(株)**は製菓・製パン原料等を仕入・販売しており、ニッテンオンラインショップ (<https://nitten-ec.shop-pro.jp/>) の運営も行っています。



とがち野酵母
(家庭用のドライイースト。
北海道で採取された野生酵母です。)



旨パン職人
(バゲットや食パンなど
無糖・低糖生地のパンづくりに適した国産ドライイーストです。)



ラフィノース100
(てん菜から抽出した粉末状のオリゴ糖)



飼料事業

●事業概要

「乳牛と肉牛の健康パートナー」として、酪農経営の安定と発展のため当社研究所において**独自に研究開発**した飼料を販売しています。ニッテン配合飼料の理念は、乳牛の潜在的能力を科学で引き出し、健康に生産を続けられる飼料をお届けすることにあります。

当社の配合飼料はてん菜に含まれる繊維質であるビートパルプを主な原材料とするもののほか、イーストやオリゴ糖ならではの素材を配合した**機能性のある飼料**を取り揃えています。



「コウシのミカタ®」は、2025年4月25日「イムノアクセル®」に名称変更。

【Immuno 免疫（力） Accel 加速する】と名前から製品の特徴がイメージ出来るようリニューアルしました。

※初乳中の免疫グロブリンの吸収を促進するオリゴ糖を原料とした初乳用添加剤で、初乳に混ぜて給与するだけで仔牛を健康に育てることができます。



農業資材事業

●事業概要

育苗用の移植用資材である「ペーパーポット®」とそれに関わる資機材を製造・販売しています。ペーパーポット®は60年間北海道のてん菜産業を支えてきた当社が開発した技術で、現在も多様な作物に使用されている環境にやさしい紙素材の製品です。

商品ブランドの一つである「チェーンポット®」シリーズは、鎖のように連結したポットが特長で、簡易移植器「ひっぱりくん®」と組み合わせる事で短時間で簡単に移植することができます。

てん菜用はもちろん、そ菜・花き・林木用があり、ネギ、レタス、キャベツ等の葉菜類の栽培等、国内だけでなく海外にも販路を広めています。

ペーパーポット®の育苗用や移植用の**農業用機械・器具**、培土等も取り扱っており、子会社 **サークル機工(株)**では農業用機械・器具の製造・販売を行っています。



日本でのん菜の約5割、ネギの約3割に使われています。



SNSでの情報発信にも力を入れており、Instagramでは1.9万人のフォロワーを獲得するなど国内・外の方々にご視聴いただいております。



不動産事業

●事業概要

北海道、東京都等で**商業店舗、オフィスビル等を賃貸**しています。



北海道帯広市 複合商業施設

その他の事業

●事業概要

子会社 **十勝鉄道(株)**は、主に原料てん菜やビート糖・配合飼料の運送を行っています。確かな技術と信頼により、農業と輸送の新しいスタイルを提供し続けます。

子会社 **スズラン企業(株)**は、北海道帯広市・芽室町でスポーツ・レジャー事業(ボウリング場経営)、石油製品販売事業(石油製品販売・ガソリンスタンド経営)、保険事業(生命・損害保険代理店)を行っています。



十勝鉄道(株) 運送車両



- ・当社グループ商品はオンラインショップでもお買い求めいただけます。

<https://nitten-ec.shop-pro.jp/>



スズラン印グラニュー糖1kg

スズラン印上白糖1kg

ビートオリゴ300g

北海道どさんこオリゴ 300g



旨パン職人 100g



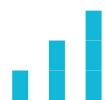
旨パン職人 500g



北海道まろやかてんさい糖280g



ラフィノース100 2g×60包/箱



5. 本日のまとめ



- 日本甜菜製糖は「てん菜」から安全安心、高品質な国産糖を製造。
- てん菜糖業を基盤に、てん菜産業への飛躍を図り、北海道から日本の食生活・農業・酪農に貢献しています。
- 東証プライム市場上場
証券コード：2108 「甜菜糖」



ご清聴ありがとうございました。

詳細な情報は、当社ホームページをご参照下さい。

<https://www.nitten.co.jp>

本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして実際の業績等はこれらと異なる可能性があります。万一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社は一切責任を負わないことをご承知おきください。

本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

日本甜菜製糖株式会社





メ モ

Handwriting practice area consisting of ten sets of horizontal dashed lines for tracing or writing practice.